

住居確保給付金事業 支援好事例（架空）

場所	自立相談支援センター		
性別	男性	年齢	60代
支援期間	約3ヶ月		
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業所にて就労していたが退職した。 ・年金収入のみでは生活ができないため、就職活動を行っている。 ・貯金が少なくなり、今月の家賃の支払いができないためどうすればよいかわからず、自立相談支援センターに来所した。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・住居確保給付金の支給 ・ハローワークでの就職活動 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃を支払えないため、就労先が決まるまで、期限付きで住居確保給付金を支給し生活を成り立たせることとした。 ・ハローワークでの求職活動を促し、生活を安定させるため就職活動を継続していく。 		
結果・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月後に就職先が決まり、家賃の支払いに困ることはなくなった。 ・現住居から退居せずにいられたことで、就職活動に専念することができ、自身の生活を立て直すことができた。 		